

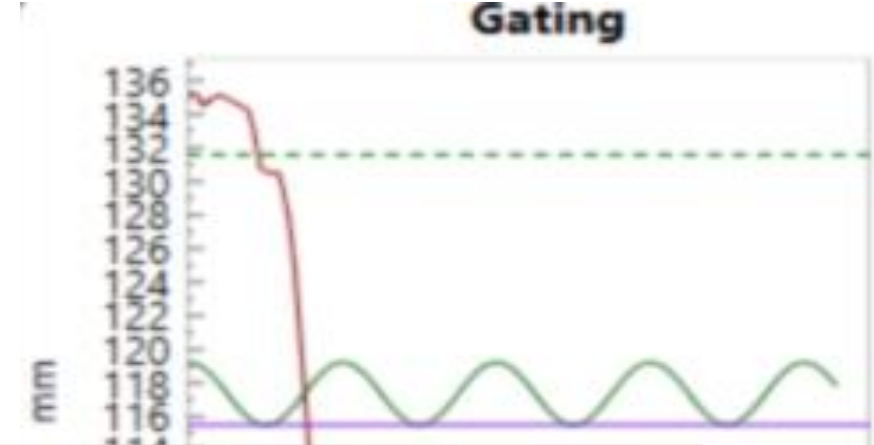
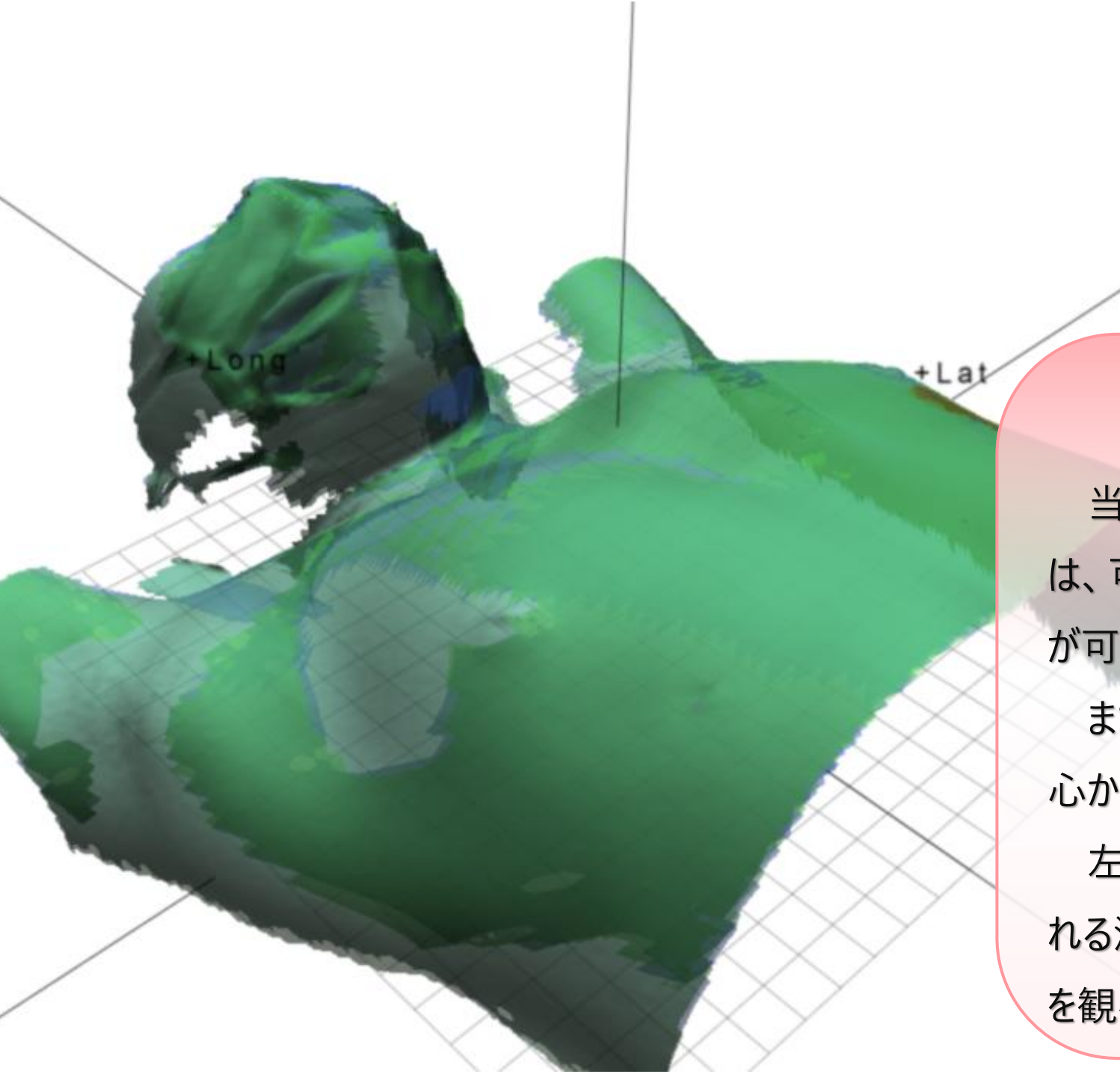
当院で放射線治療を考えている方へ

2025年8月に放射線治療装置を更新し、
従来より高精度な治療が可能になりました。

《新装置の特徴》

- ◆ 3Dカメラによる体表情報の取得
- ◆ 最新のシミュレーションソフトを搭載した放射線治療計画装置による高精度な線量計算
- ◆ 精密な治療計画と照射による定位放射線治療
- ◆ 痛みの改善のための緩和的放射線治療



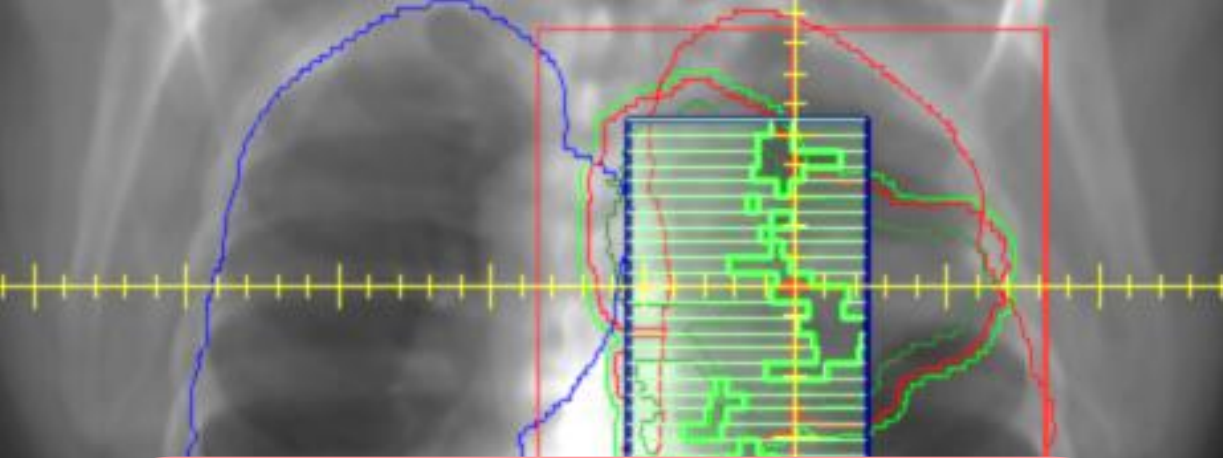


3Dカメラについて

当院の特徴新しく導入した「Catalyst」システムは、可視光をカメラで認識し位置合わせを行うことが可能です。

また、照射中の動きを検知することが可能で、安心かつ正確な治療ができます。

左乳房治療時の心臓線量を下げる目的で行われる深吸気息止め法（DIBH）では、呼吸の様子を観察することが可能です。

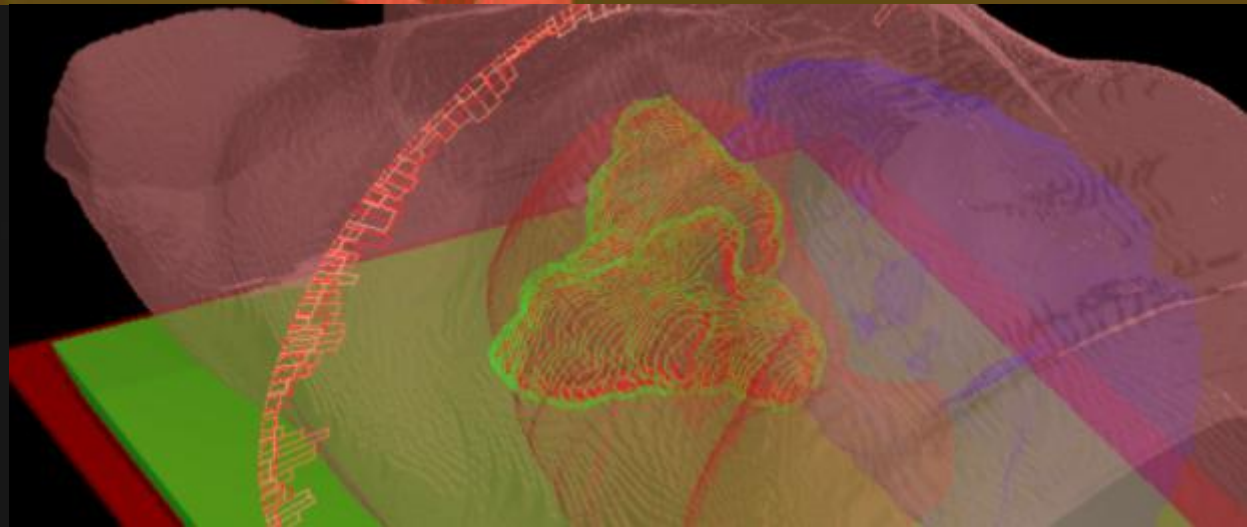
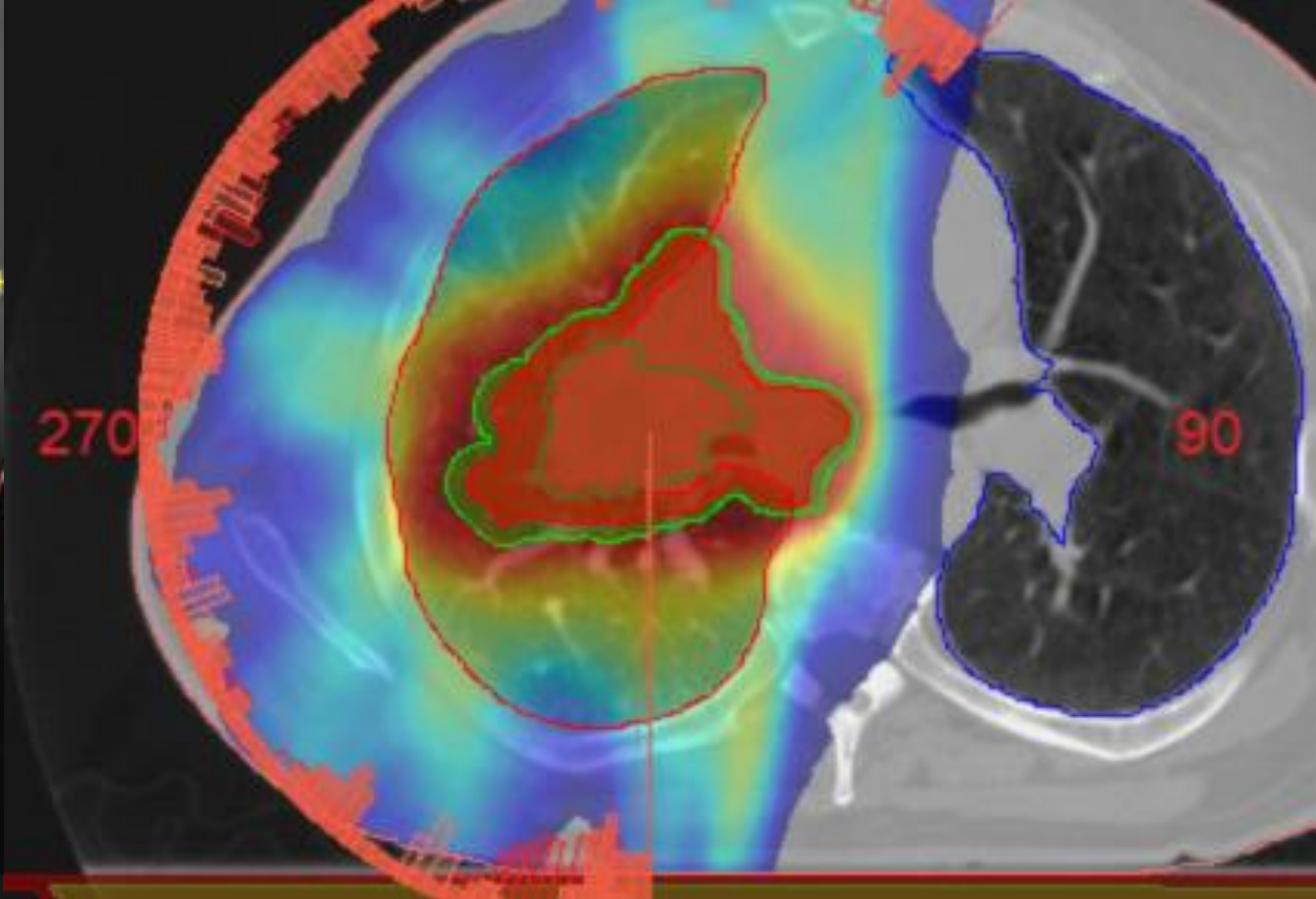


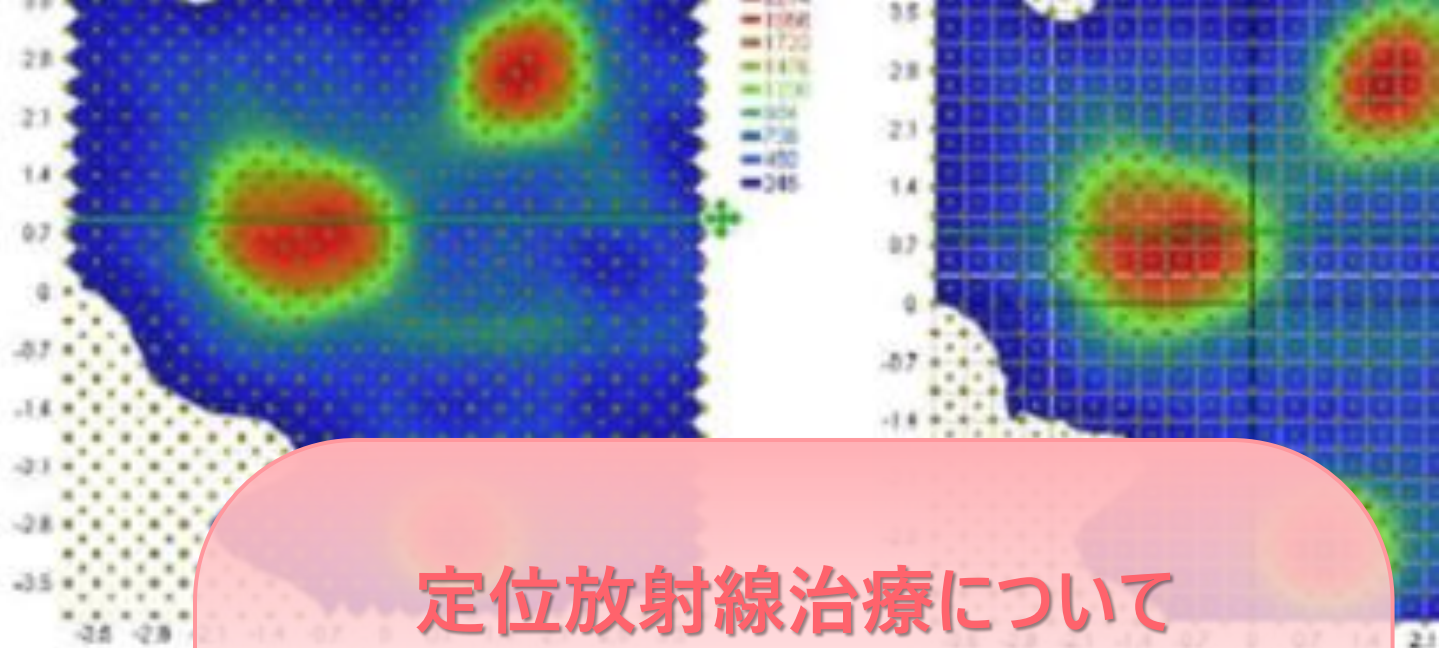
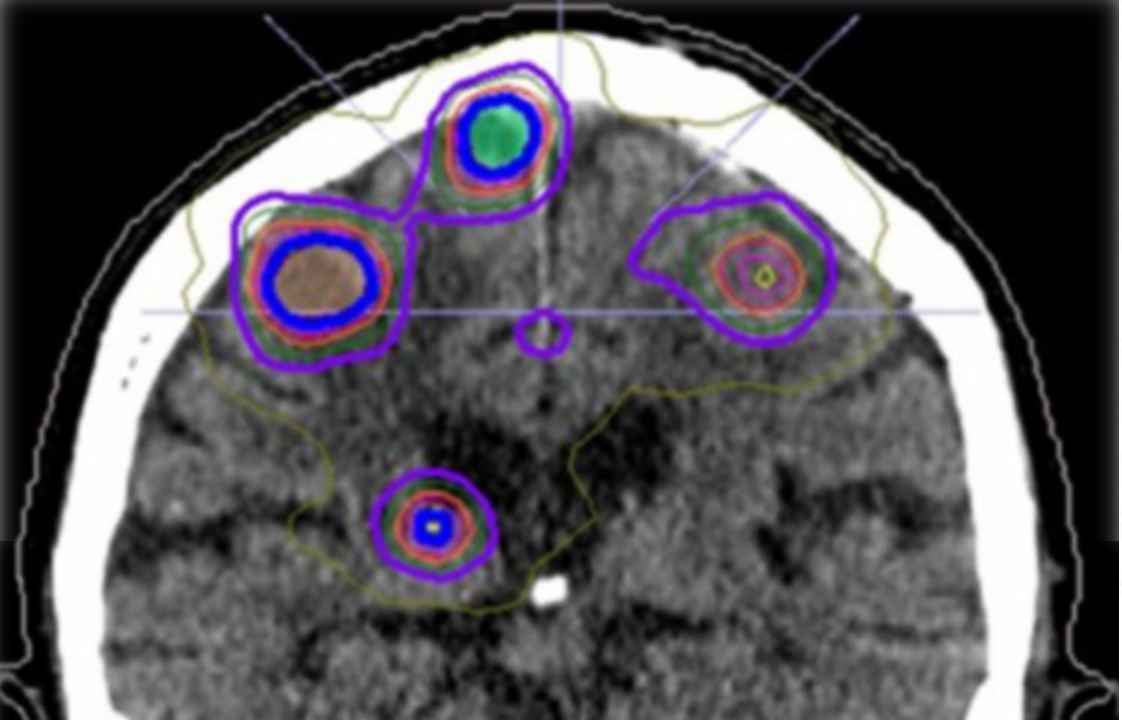
放射線治療計画装置について

当院の放射線治療計画装置Monacoは、
従来よりも高精度な線量計算が可能となる

シミュレーションソフトを搭載しています。

また、さまざまな治療部位での3D-CRTからVMAT、
定位放射線治療と呼ばれる、高度で複雑な
治療シミュレーションに対応できる最新の
治療計画システムです。



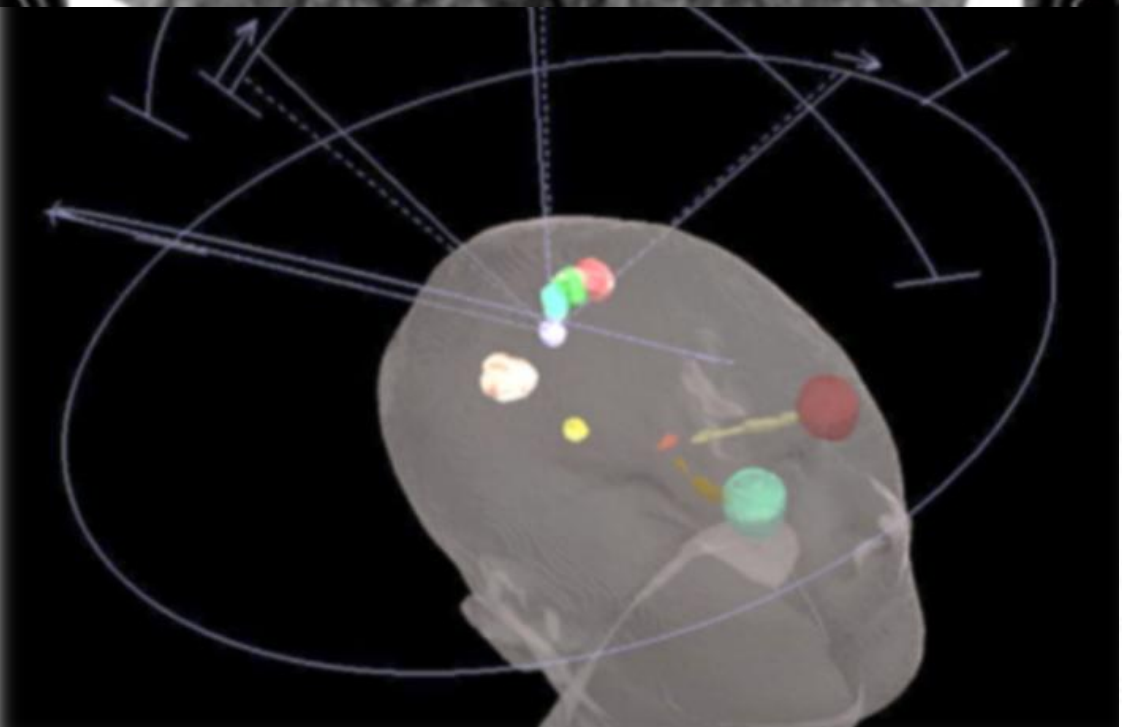


定位放射線治療について

定位放射線治療は、小さな病変に対して線量を集中的に照射する治療です。

主な対象は、頭部腫瘍や肺癌、肝癌、腎癌、前立腺癌、転移性脊椎腫瘍などです。

当院の装置は最小で1mmの仮想的な照射野を作ることが可能で、病変には線量を与えつつ、正常な臓器への線量を抑えることが可能です。



緩和的放射線治療について

痛みなどの症状改善を目的とした放射線治療を「緩和的放射線治療」といいます。

放射線治療は手術や化学療法と比べて、体への影響が少ないというメリットがあります。

主な対象は、腫瘍により臓器（脳、脊髄、静脈、腸管、骨）が圧迫され痛みや麻痺などの症状がある方、腫瘍からの出血がある方です。

